

資料 5.1.4 実施概要：資料 3：学校質問紙調査結果シート 数学

文部科学省「全国的な学力調査の調査手法における技術的課題に関する調査研究」(数学)

学校番号	学校名
------	-----

1 学校の調査人数・平均点

セット名	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	合計
調査人数								
平均点								

2 全体の調査人数・平均点

セット名	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	合計
調査人数	368	356	357	356	369	366	367	2,539
平均点	18.4	20.3	20.0	18.3	18.1	18.7	18.0	18.8

3 全体のセット別度数分布

セット名	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7
調査人数	368	356	357	356	369	366	367
0	0	2	3	2	0	3	3
1	2	1	2	1	0	3	0
2	3	4	1	7	1	3	1
3	7	2	1	2	5	5	4
4	5	4	5	4	8	6	6
5	9	9	5	12	8	11	7
6	8	5	10	8	8	10	9
7	12	4	6	11	15	6	17
8	16	8	6	13	13	13	13
9	11	5	11	5	19	5	11
10	11	6	8	5	5	15	12
11	11	6	6	15	11	11	13
12	12	8	12	18	10	5	16
13	7	14	9	9	13	16	14
14	15	10	9	12	15	10	20
15	8	9	6	13	18	9	10
16	11	7	8	7	14	10	8
17	10	9	17	10	8	13	8
18	14	13	13	19	15	8	16
19	11	13	14	16	19	18	12
20	18	14	13	9	14	14	12
21	10	17	17	15	5	14	12
22	18	17	21	13	23	15	12
23	21	22	17	14	14	14	11
24	11	20	14	14	10	19	18
25	11	18	21	14	14	14	16
26	17	19	17	15	12	13	12
27	19	16	14	18	12	16	15
28	16	12	10	11	8	9	18
29	15	19	15	12	24	17	16
30	14	25	17	11	11	21	13
31	10	14	20	11	14	8	7
32	5	4	9	10	3	12	5

4 平均正答率・平均推定正答確率 全体との比較表

学年	領域	単元	内 容	問の種類の	平均正答率		平均推定正答確率	
					学校	全体	学校	全体
第一学年	A数と式	【正負の数】 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようになるとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。	正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。	選択	71%	70%		
			小学館で学習した数の四則計算を関連付けて、正の数と負の数の四則計算の理解を深めること。	短答	62%	62%		
			正の数と負の数の四則計算をすること。	短答	56%	56%		
			具体的な場面を通して正の数と負の数を用いて表現したり処理したりすること。	短答	61%	61%		
				短答	74%	76%		
				短答	72%	72%		
	【文字と式】 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	文字を用いることの必要性和意味を理解すること。	選択	72%	72%			
		簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。	短答	48%	48%			
			短答	52%	52%			
		数量/関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表現したり読み取ったりすること。	選択	72%	73%			
		等式の性質を基にして、方程式が解けることを知ること。	選択	52%	53%			
		簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面でも活用すること。	短答	62%	62%			
B図形	【作図・作図】 線、線分や実験などの活動を通して、発達を通して性質の異なる図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、積極的に観察し表現する能力を培う。	角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を習得し、それらを用いた図形の作図で活用すること。	選択	84%	84%			
		作図、作図や実験などの活動を通して、発達を通して性質の異なる図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、積極的に観察し表現する能力を培う。	選択	70%	70%			
		空間における直線や平面の位置関係を理解すること。	選択	50%	51%			
		空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものとして捉え、空間図形を平面図形として捉えて平面図形から空間図形の性質を読み取ったりすること。	選択	80%	80%			
			選択	88%	88%			
		図形の面の長さや面積並びに基本的な柱体、錐(すい)体及び球の表面積と体積を求めらるること。	短答	37%	37%			
C関数	【比例と反比例】 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対称を調べることを通じて、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を用いた表現し考察する能力を培う。	関数関係の意味を理解すること。	選択	42%	42%			
		比例、反比例の意味を理解すること。	選択	46%	46%			
		比例の意味を理解すること。	短答	64%	64%			
		比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。	短答	53%	53%			
			選択	74%	75%			
			短答	47%	47%			
D資料の活用	【ヒストグラムと代表値】 身近なデータを整理し、コンピュータを用いて表やグラフで整理し、代表値やデータの分布の様子を調べることを通じて、資料の活用能力を培う。	比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。	選択	53%	54%			
		ヒストグラムや代表値を用いて資料の活用をとらえ説明すること。	選択	73%	73%			
第二学年	A数と式	【式の計算】 具体的な事象の中から数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようになる。	簡単な式の加法、減法及び乗法の乗法、除法の計算をすること。	短答	50%	50%		
				短答	61%	62%		
			文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。	選択	64%	66%		
				選択	45%	46%		
			目的に応じて、簡単な式を整理すること。	選択	67%	68%		
				選択	62%	63%		
	B図形	【平行線と角】 線、線分や実験などの活動を通して、基本的な平面図形の性質を見だし、平面図形の性質を基にしてそれらを用いて表現し考察することができるようにする。	二元一次方程式とその解の意味を理解すること。	選択	64%	65%		
			簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面でも活用すること。	短答	74%	73%		
				短答	76%	76%		
				選択	76%	77%		
			平行線の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を求めたりすること。	選択	67%	67%		
			平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質を見だし、それらを用いて表現し考察することができるようにする。	短答	63%	64%		
C関数	【関数の合同】 関数の合同について理解し関数についての理解を深めるとともに、関数の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を培う。	関数の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、関数の性質の証明を積み重ねたりすること。	短答	62%	62%			
		関数の合同条件や三角形の合同条件について理解すること。	短答	73%	72%			
			短答	50%	49%			
		証明の必要性和意味及びその方法について理解すること。	選択	33%	32%			
		三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、関数の性質の証明を積み重ねたりすること。	短答	75%	76%			
			短答	34%	36%			
D資料の活用	【確率】 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それらを用いて表現し考察することができるようにする。	事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ること。	短答	17%	17%			
		一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。	選択	51%	51%			
		二元一次方程式を関数を表す式とみる。	短答	72%	71%			
		一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。	短答	60%	60%			
			短答	54%	54%			
			短答	72%	72%			
D資料の活用	【確率】 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それらを用いて表現し考察することができるようにする。	確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。	短答	41%	41%			
		確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。	選択	43%	43%			
	確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。	選択	51%	51%				
		選択	19%	19%				

資料 5.1.5 実施概要：資料 4：調査結果シート 国語

国語 調査結果シート

学校番号	学校名	組	出席番号	性別
------	-----	---	------	----

学年	領域	目 標	指導事項の内容	問いの種類	平均正答率	解いた問題の正解	解かなかった問題の推定正答率
第一学年	「書くこと」	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考える確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。	(イ) 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	記述	29%	-	43%
			(ウ) 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちらを根拠を明確にして書くこと。	記述	33%	×	-
				記述	71%	○	-
				記述	53%	-	71%
	「読むこと」	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	(イ) 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	選択	59%	○	-
				選択	46%	×	-
				選択	62%	×	-
				選択	32%	-	44%
			(ウ) 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	選択	58%	-	74%
				選択	79%	-	90%
				選択	23%	-	27%
				選択	43%	-	53%
			(エ) 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。	選択	66%	○	-
				選択	62%	○	-
				選択	55%	-	63%
				選択	82%	-	96%
				選択	61%	-	76%
				記述	53%	-	71%
(オ) 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	選択	72%	○	-			
	記述	53%	○	-			
	選択	29%	-	33%			
	記述	29%	-	43%			
	選択	80%	○	-			
	選択	50%	-	59%			
第二学年	「書くこと」	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。	(イ) 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	記述	53%	○	-
			(ウ) 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫して書くこと。	記述	29%	-	47%
	「読むこと」	目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方などに注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。	(イ) 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	選択	47%	○	-
				選択	74%	-	86%
			(ウ) 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	記述	29%	-	47%
				記述	33%	-	33%
(エ) 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。	記述	24%	×	-			
	記述	71%	○	-			

表の見方
 1) 「平均正答率」はこの調査を受けた人たちのなかでその問題に正しく答えられた人たちの割合です。数値が小さいほどむずかしい問題です。
 2) ○と×はあなたが実際に解いた問題の正解・不正解をあらわしています。
 3) 解かなかった問題の「推定正答率」は、あなたが受けたテスト冊子の中にはその問題は含まれていないのですが、仮にこの問題を解いていたらどの程度正しく答えられるかを示したものです。

資料 5.1.6 実施概要：資料 5：調査結果シート 数学

数 学 調 査 結 果 シ ー ト

学校番号	学校名	組	出席番号	性別
------	-----	---	------	----

学年	領域	単 元	内 容	問いの種別	平均正答率	解いた問題の正誤	解かなかった問題の推定正答確率	
第一学年	A数と式	【正負の数】 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。	正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。	選択	71%	-	90%	
			小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。	短答	62%	-	88%	
			正の数と負の数の四則計算をすること。	短答	55%	-	76%	
			具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。	短答	61%	-	89%	
				短答	74%	○	-	
				短答	74%	○	-	
	B図形	【作図と移動】 観察、操作や実験などの活動を通して、見通したもつて作図したり図形の移動について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を養う。	文字を用いることの必要性と意味を理解すること。	選択	72%	○	-	
			文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	短答	72%	-	93%	
			簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。	短答	48%	○	-	
				短答	52%	○	-	
			数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。	選択	72%	○	-	
				短答	72%	○	-	
	C関数	【一次方程式】 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。	等式の性質を基にして、方程式が解けることを知ることに。	選択	52%	-	73%	
			簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。	短答	62%	-	91%	
				選択	54%	-	79%	
			【作図と移動】 観察、操作や実験などの活動を通して、見通したもつて作図したり図形の移動について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を養う。	角の二等分線、線分の二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解し、それを用いた作図を正確に行うこと。	選択	84%	○	-
			平行移動、対称移動及び回転移動について理解し、二つの図形の関係について調べることに。	選択	70%	-	86%	
			空間における直線や平面の位置関係を知ることに。	選択	50%	×	-	
D資料の活用	【空間図形】 観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものとして捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。	選択	80%	-	99%		
			選択	88%	○	-		
		圓形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。	選択	37%	○	-		
			短答	47%	○	-		
		関数関係の意味を理解すること。	選択	42%	○	-		
			短答	42%	×	-		
A数と式	【比例と反比例】 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対照を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。	比例、反比例の意味を理解すること。	選択	46%	×	-		
		座標の意味を理解すること。	短答	64%	-	86%		
			短答	53%	-	86%		
		比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。	選択	74%	○	-		
			短答	47%	-	79%		
		比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。	選択	53%	○	-		
第二学年	A数と式	【式の計算】 具体的な事象の中に数量の関係を見いだし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。	ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。	選択	73%	-	92%	
			簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。	短答	50%	○	-	
				短答	61%	-	89%	
			文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。	選択	64%	○	-	
				選択	45%	×	-	
				選択	67%	○	-	
	B図形	【連立方程式】 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。	目的に応じて、簡単な式を变形すること。	選択	62%	○	-	
			二元一次方程式とその解の意味を理解すること。	選択	64%	○	-	
			簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。	短答	74%	-	96%	
				短答	76%	○	-	
				選択	76%	○	-	
				短答	76%	○	-	
C関数	【平行線と角】 観察、操作や実験などの活動を通して、基本的な平面図形の性質を用いて、平行線の性質を基にしてそれらを確かめることができるようにする。	平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめたりすること。	選択	67%	○	-		
		平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質が見いだせることを知ることに。	短答	63%	○	-		
			選択	62%	○	-		
		平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。	選択	73%	-	89%		
			選択	50%	-	69%		
		証明の必要性と意味及びその方法について理解すること。	選択	33%	○	-		
D資料の活用	【一次関数】 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対照を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。	三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を頼んで新たな性質を見いだしたりすること。	記述	75%	-	66%		
			記述	34%	-	75%		
			記述	17%	×	-		
		事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ることに。	選択	51%	○	-		
		一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。	選択	72%	-	94%		
			短答	60%	-	93%		
A数と式	【確率】 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それを用いて考察し表現することができるようにする。	二元一次方程式を関数を表す式とみることに。	選択	54%	○	-		
		一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。	短答	72%	-	95%		
			短答	41%	○	-		
		確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることに。	短答	43%	×	-		
	選択	51%	○	-				
	短答	19%	-	33%				

表の見方
 1) 「平均正答率」はこの調査を受けた人たちの全体のなかでその問題に正しく答えられた人たちの割合です。数値が小さいほどむずかしい問題です。
 2) ○と×はあなたが実際に解いた問題の正解・不正解をあらわしています。
 3) 解かなかった問題の「推定正答確率」は、あなたが受けたテスト冊子の中にはその問題は含まれていないのですが、仮にこの問題を解いていたらどの程度正しく答えられるかを示したものです。